

経営比較分析表（平成30年度決算）

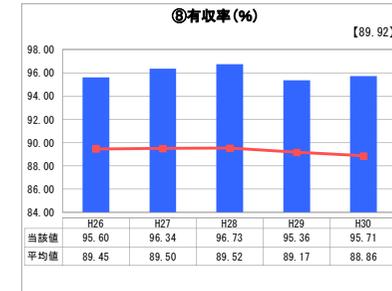
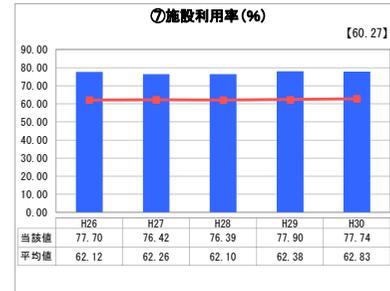
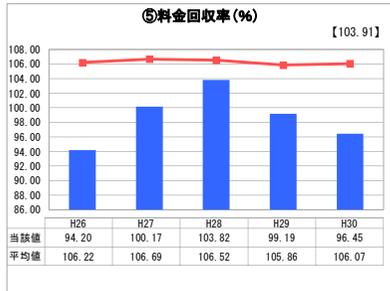
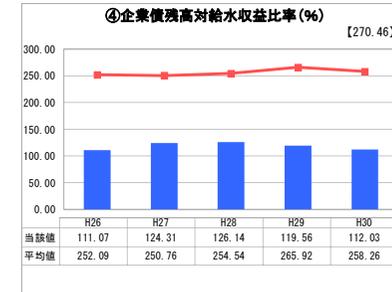
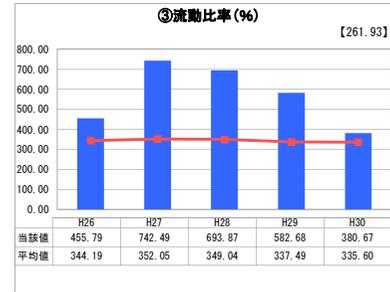
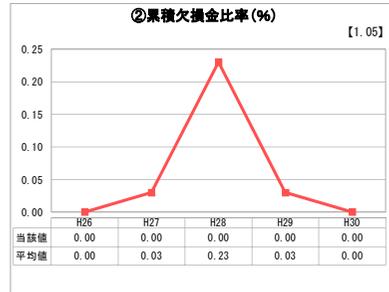
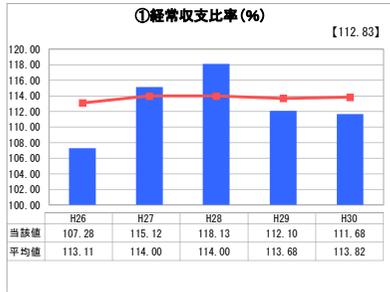
神奈川県 座間市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	民間企業出身
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	85.51	99.95	2,207	

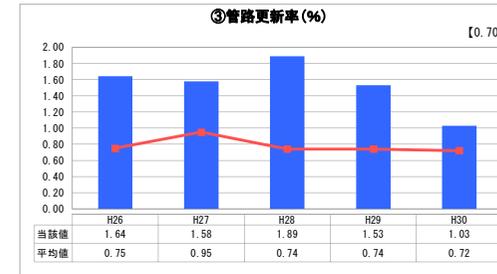
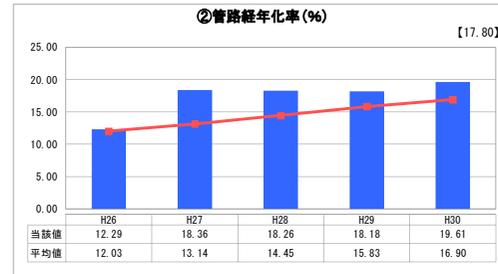
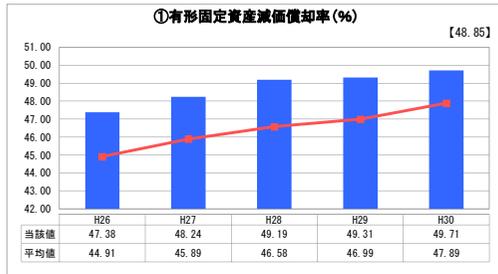
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
130,963	17.57	7,453.78
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
131,142	17.01	7,709.70

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市では、前年度と比較して費用が増加したこと
から、経常収支比率は前年度対比マイナス0.42ポ
イント、料金回収率は100%を下回る数値となりまし
た。
給水原価についても同様の理由により増加してい
ます。
また、前年度と比較して未払金の増加を主因とし
て流動負債が増加したことから、流動比率は前年度
対比マイナス202.01ポイントと数値が下がりました
。一方で、企業債残高対給水収益比率は低い数値
で推移していることから、費用・債務に対する支払
能力は前年度同様高いといえます。
また、施設利用率及び有収率は類似団体と比較し
て高い値を示しており、効率性は確保されていま
す。
しかし、今後も給水収益の減少傾向、施設の老朽
化による維持管理費の増加傾向は続くことと予想され
ることから、引き続き、施設の耐震化等に必要資金
の確保等が課題となっています。

2. 老朽化の状況について

管路更新率は前年度と比較してマイナス0.5ポ
イントとなりましたが、引き続き類似団体平均値を上
回っています。
また、有形固定資産減価償却率及び管路経年率
は類似団体平均値を上回る数値であり、管路の更新
等の必要性が高いといえます。
更新が必要な管路は今後も更に増加するため、更
新に必要な資金をいかに確保していくかが課題と
なっています。

全体総括

本市の水道事業は、水需要の減少傾向、施設の経
年化に伴う維持管理費の増加傾向は続くことと予想され
ることから、将来的に厳しい経営状況になると考え
られます。
また、持続的な経営を行うためには、内部留保資
金を十分に確保する必要があります。
今後も企業債に過度に依存することなく、経費節
減に努めるとともに、適正な料金水準を検討し、健
全な経営を目指します。